

2020年度 事業報告書

(就労継続支援B型 ともだち村)

2021年4月1日

1. 主な実施事業

① 平飼い養鶏事業(つくばみらい市戸茂)

約500羽の鶏の世話をしてきた。自然卵販売先は、固定客、JA直売所4か所、フレッシュグリーン用等。割れ卵は加工用として、フレッシュグリーンに提供し、又給食で使用している。

新しい雛は、4月と9月に各120羽を導入している。養鶏場へ自力で行けない人が増えたので、送迎を開始した。鶏糞の処理は、ともだち村の畑に漉き込んでいる。廃鶏は、守谷市にある業者に処分を依頼している。

② 食品事業(つくばみらい市板橋の厨房設備)

給食は平日昼食70食前後を提供した。グループホーム夕食、朝食と、休日の食事提供を行った。359日の食事提供体制として強化した。

③ 畑事業(つくばみらい市板橋の畑)

ブルーベリーは前年に続き順調に収穫した。生食用はJA直売所2か所で販売、ジャム加工用としてフレッシュグリーンに販売した。ブルーベリー収穫の繁忙期はボランティアの受け入れをした。

雨天時作業用や閑散期に、おからパウダーの製造に着手して出荷も本格化している。

④ 就労継続支援B型事業に2時間参加できないが、短時間ならできる「小さな仕事」を利用する人も増加している。

2. 成果と今後の課題

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、4～5月にかけて利用者が減少し、経営上大きな不安を抱えた。その後、年度末にかけて例年通りの水準に戻すことができた。メンバーに対しては、年2回の個別支援計画のモニタリングをもとに、仕事内容、日数などを決め、生活面、仕事面での目標を立て、それに基づいて支援してきた。生活面が安定しないと仕事が継続しない方が多いので、グループホームや、地域活動支援センターとの連携を重視してきた。

利用者の高齢化が進行していて、養鶏や、畑作業のような外での作業参加者が減少傾向である。作業環境の改善(小さな仕事当)をすすめてきた。養鶏場へは自力通勤を原則としてきたが、希望者には送迎を引き続き実施した。

3. その他、収支・職員数・利用者数・工賃など(過去2年間の推移も記載)

職員数：常勤6名 非常勤：3名 (2021.4.1現在)

登録者数：32名(3/31現在)

定員：20名

利用者のべ総数：4,915名(令和2年度) 4467名(令和元年度) 4829名(平成30年度)

支払工賃総額：3,433,650円(令和2年度) 3,126,215円(令和元年度) 2,797,640円(30年度)

平均工賃：8,965円(令和2年度) 7,356円(令和元年度) 6952円(30年度)

令和2年度の工賃分布は、3万円台2名、2万円台2名、1万円台9名、1万円以下18名

工賃向上策案(おからパウダー)をもとに、目標工賃達成指導員配置加算を申請し、承認された。(2021.3.1)

2020 年度 事業報告書

(事業所名 ; 就労継続支援 B 型 花農場)

2021 年 4 月 1 日

1. 主な支援内容

- ① 花苗の生産・販売活動
 昨年同様、利用者の意見を取り入れ新たな品種に挑戦している。品種によっては育成の難しさもあり、うまく育たないケース等も見られるが、それがやりがいにつながっている。
 販売活動は利用者にも参加していただき、安定的な売り上げが確保できている。
- ③ レクリエーション
 食事会の実施。

2. 成果と今後の課題

成果

- ① コロナ禍において売り上げの減少が危惧されたが実際は若干の増加が確保できている。
 趣味等に使う時間が増えた方による購入等が要因と考えられる。
- ② 安定的な作業の提供ができた。
 基本的に野外での活動が多いため、ソーシャルディスタンスが取れやすい環境がある。
 また、コロナ禍の中で会話等を最小限に抑えることで、作業への集中力が上がっている利用者も見られる。

課題

- ① 利用者の年齢に伴う体力低下・体調面への配慮として作業全般の修正が必要と考えている。
 ・体の痛みがある・疲れがとれない等の相談が増えてきている。負荷のかかる仕事は交代制にしたり作業時間を短縮などの対応をとっている。
- ② 気候の変化への対策が必要。
 冬場：ストーブを増やすことで座り作業の配置を増やしている。
 ・花苗の作業が少なくなるため、カゴ洗いや清掃等の作業を増やしていく必要性を感じる。
 ・冬場は利用者の通所率が減少する傾向がある。
 夏場：暑さ対策として作業時間の調整 ハウス内の遮光ネット・水分補給・打ち水・室内作業・塩飴・経口補水液の確保等を引き続き行いながら、作業中の利用者の状況把握も課題となる。
- ③ 引き続きの感染症対策。

3. その他、収支・職員数・利用者数・工賃など（過去 2 年間の推移も記載）

職員数 ; 常勤 5 名 非常勤 4 名

(3 月 31 日現在)

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
登録者数	39 名	40 名	33 名
延利用者数	4640 名	4432 名	3920 名
一日平均利用者数	16.4 名	15.5 名	16.2 名
就労支援事業収入	8,744,138 円	8,774,337 円	9,547,923 円
支払工賃	総額 5,609,677 円 平均 14,310 円	総額 5,603,149 円 平均 15,651 円	総額 5,528,220 円 平均 17,775 円
苦情件数	0 件	0 件	0 件

工賃分布 3 万円台 5 名 2 万円台 3 名 1 万円台 7 名 1 万円以下 12 名 (直近の工賃支給額)

2020年度 事業報告書

(事業所名 ; 就労継続支援 B 型フレッシュグリーン)

2021年4月1日

1. 主な支援内容

- ① 食品事業 (つくば市谷田部 4701-2)
 おからパン、ともだち村の平飼い鶏の卵を使ったプリン、カトルカールやクッキーなどの焼き菓子類、ともだち村のブルーベリーを使ったジャムなどの製造販売をおこなった。商品は農産物直売所 5 店舗で委託販売、保健所や市役所への訪問販売、個別の注文に応じて販売した。また、(株) OR I J I N E S S からチョコレート、紅茶の包装の仕事を請け負った。
- ② 園芸事業 (つくば市台町 1-3-4) 花苗の生産販売と法人等の花壇の植栽をおこなった。花苗が不足しているときには仕入れ苗も取り扱った。花苗は注文販売、農産物直売所 3 店舗、スーパー 1 店舗で委託販売、農場で直売もした。
- ③ 利用者の相談には個別に対応した。また、地域活動支援センター「わかば」や相談支援事業所と連携を密にして利用者がフレッシュグリーンで安定して仕事ができるように配慮しながら支援をおこなった。

2. 成果と今後の課題

成果： 食品・利用者の一人一人が力をつけて作業効率が上がっている。今年度は新たに直売所 1 店舗、公共施設 1 か所でプリンや焼き菓子の販売を始めることができた。コロナ禍でイベントが減ったが新たな販売先の開拓で収入は前年並みに維持することができた。

園芸・利用者はそれぞれのペースで仕事をする事ができている。花苗を種から育てたので扱う種類が増えて、ほぼ切れ目なく店頭に並べることができた。高品質の苗の提供によって顧客が増え、官公需の取り扱いも増やすことができた。また、付加価値の高いプランターは利用者が豊かな発想で作ったものも含めて販売することができた。それらの結果、就労支援事業収入を増やすことができた。

就労： 11月に1名が就職した。

課題： 食品・利用者の力の差が開いてきているので一人一人に合った支援をいかにしていくか。

園芸・現在の施設規模でいかに効率的に生産していくか。

フレッシュグリーンとして：コロナ禍にあって利用者と職員が感染しないように注意喚起をしながら対策してきた。今年度も継続していきたい。利用者減の状況下で今登録している方々の力を引き出すための支援といかに新しい利用者を迎えていくかが課題である。

3. その他、収支・職員数・利用者数・工賃など (過去 2 年間の推移も記載) (3月31日現在)

職員数 ; 常勤 4 名 非常勤 4 名

	2020 年度	2019 年度	2018 年度
登録者数	35 名	37 名	39 名
延利用者数	4264 名	4740 名	4739 名
一日平均利用者数	17.5 名	19.5 名	19.7 名
就労支援事業収入	9,690,713 円	8,494,255 円	8,343,578 円
支払工賃	総額 5,295,358 円 平均 13,647 円	総額 4,980,538 円 平均 11,952 円	総額 4,953,722 円 平均 12,231 円
苦情件数	0 件	0 件	1 件

工賃分布 3万円台 0名 2万円台 4名 1万円台 8名 1万円以下 20名 (2021年3月実績 期末手当除く)

2020年度 事業報告書

(事業所名；地域活動支援センター ゆうあいワークイン)

2021年4月1日

1. 主な支援内容

① 地域活動

4月：他施設交流 5月：公園散策 6月：散歩 7月：避難訓練 8月：夏祭り 9月：バーベキュー
 10月：ゲーム大会 11月：お菓子作り 12月：クリスマス会 1月：初詣 2月：中食会 3月：お花見
 どらすて出店（龍ヶ崎商店街）：創作品販売
 その他、毎月の活動として：カレー昼食会・映画鑑賞・CD鑑賞会

② 生活訓練・生活体験 調理実習・買い物指導・自分で作る昼ご飯・SST（個別）

③ 作業訓練 保健センター …龍ヶ崎市民あて健診通知等の封入作業

はりはりや …本の梱包発送作業 CD・DVDの仕分け、クリーニング

④ 自主制作活動 …絵画・小説・手芸

⑤ 相談支援・個別支援

日常生活支援…家族や友人との関係、生活リズム、金銭管理、スマホ・ライン関連
 医療福祉支援…主治医との関係調整、服薬相談、年金相談、生活保護相談、手帳申請相談
 社会資源利用支援、計画相談
 就労支援…アルバイト先の人との関係に関する相談等

2. 成果と今後の課題

成果 感染症予防対策のため、大人数でのイベントを中止にして、個々のニーズをプログラムとして展開した。
 その結果、これまで関心のなかったことに触れて興味を示す方や、自分にはできないと思いこんでいたが、やってみたらできたという自信をつける方が複数あった。

外出を自主規制する方が多く全体の利用数は減ったが、集団が苦手なため家にこもりがちだった方の利用が増えるという成果があった。

課題 感染症対策による生活様式の変化は今後も続くと思われ、中止にしていたイベントの形式を変えて実施していきたい。

また、利用者の高齢化が進み加齢による体力の低下や体の不調を訴える方が出てきた。

活動中のけが予防など、より注意が必要になっている。適宜プログラムの見直しをして提供していく。

通所手段としての車の運転が不安だという相談や、自転車での通所が疲れるという方も出てきている。

現在はコミュニティーバスの利用などを提案することで解消できている。

3. その他、収支・職員数・利用者数など（2021.3.31現在）

職員数；常勤3名 非常勤1名

	2018年度	2019年度	2020年度
登録者数	42名	38名	34名
延利用者数	3,904名	3,575名	3,397名
一日平均利用者数	16.0名	14.7名	13.9名
苦情件数	0件	0件	0件

2020年度事業報告書

(事業所名；地域活動支援センターふれんず)

2021年3月31日

1. 主な支援内容

(1カ所目) つくばみらい市神生530番地すこやか福祉館内

(2箇所目) つくばみらい市板橋2147-4番地

- ◇相談援助・・・個人的な悩みや日常生活上の相談。
- ◇生活援助・・・日常生活自立支援事業への協力。一人暮らしの為のアパート探し援助， 手続同行援助， 服薬チェック， 通院援助等。
- ◇居場所・・・安心できるサロンを提供。
- ◇自主活動・・・アートレク， 書道教室， 買い物支援， 調理実習， 茶話会等。
- ◇社会参加・・・ふくし祭りや地域の行事への参加。当事者発表の場への参加。
- ◇健康増進・・・ボランティア講師によるスポーツレクリエーションの実施， 健康に関する講話等。
- ◇在宅の方への訪問や助言， 電話相談。
- ◇市困難ケース解決協力， 地域ケアシステム事業や相談支援事業所， 訪問看護， 各事業所との連携。

2. 成果と今後の課題

- ・社会福祉協議会の日常生活自立支援事業の支援を受けている方が3名。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため来所持にマスク着用の確認， 検温， 消毒， 体調確認を行いました。現在も午前午後の検温は継続中。発熱がある方は自宅で静養するよう助言し， 安否確認等を行っています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため開所時間を遅らせるなど3密を避ける配慮をし， 人混みが多いところへの移動は避け， 外部講師によるプログラムを自粛するなどの対応を講じた。通院援助においては多数の利用者がある場合には送迎者2台で対応するなど密にならないような対応をした。今後も市内近隣の感染状況を把握し， 引き続き新型コロナウイルス感染予防について利用者に助言していく必要がある。

月別開所日・利用者数 (のべ人数)

4月 (21日・609名)	5月 (9日・253名)	6月 (17日・469名)
7月 (22日・632名)	8月 (21日・571名)	9月 (20日・559名)
10月 (20日・559名)	11月 (22日・606名)	12月 (19日・532)
1月 (20日・572名)	2月 (19日・509名)	3月 (23日・581)
延べ利用者平均6452名	開所日233日	1日平均利用者数 27.6名

3. その他、収支・職員数・利用者数など (過去2年間の推移も記載) (3月31日現在)

職員数；常勤2名 非常勤2名

	2018年度	2019年度	2020年度
登録者数	44名	49名	42名
延利用者数	6583名	7022名	6452名
一日平均利用者数	26.2名	28.6名	27.6名
苦情件数	0件	0件	0件

2020 年度 事業報告書

(事業所名 ; 地域活動支援センター わかば)

2021 年 3 月 31 日

1. 主な支援内容

① プログラム活動

買い物支援, 銀行同行支援, 調理実習, グループミーティング, 創作活動 など

② レクリエーション

お花見, テイクアウト会, 納涼祭, クリスマス会, 初詣, など

③ ゆっこら他事業所との交流 (読み聞かせ参加など)

④ 地域交流イベントへの参加

チャレンジアートフェスティバル, プチマルシェ

⑤ メンバーへの相談援助

⑥ メンバーの送迎サービス

⑦ 通院同行支援

2. 成果と今後の課題

<成果>

・今年度もチャレンジアート共同作品制作にあたりメンバーミーティングを重ね、プロセスを踏み、作品を完成させた。作品の評価も良く、県内の移動展示や守谷 PA 内トイレへの展示などへの声掛けもいただいている。また、今回は茨城県在住のシンガソングライター うたうたいりりいさんとのコラボレーション企画をいただき、メンバーの作った詩に曲をつけていただき演奏していただくという機会を得た。

・隣接しているフレッシュグリーンと連携を取ることで、メンバー支援を協力して行うことができた。

・ゆっこら内他事業所と合同プログラムを行い、ゆっこらメンバー間の交流を図ることができた。

<課題, 他>

・新型コロナウイルスの流行に伴い、消毒や検温, 換気などの徹底を行うとともに、緊急事態宣言発令時には送迎を中止した。また、今年度は例年とは違い外出やレクリエーション活動がほとんどできない状況となった。

・この1年、見学, 体験はあったが、新規利用者はいなかった。また、毎日利用していたメンバーで、別の施設を利用することになった方もおり、全体的に利用者数が減ってしまった。

・メンバー同士のトラブル, 苦情が上がったため、メンバー全員に個別にわかば利用に関するルールの再確認を行う予定である。

3. その他、収支・職員数・利用者数など (過去2年間の推移も記載)

職員数 ; 常勤 3 名 (内 2 名兼務) 非常勤 1 名

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
登録者数	38 名	37 名	33 名
延利用者数	4,581 名	4,234 名	3,674 名
一日平均利用者数	18.9 名	17.4 名	15.2 名
苦情件数	1 件	4 件	1 件

2020 年度 事業報告書

(事業所名：グループホームボランペの家)

2021 年 4 月 1 日

1. 主な支援内容

- ① 通院同行 月に平均 8 回の定期通院同行以外に臨時受診の対応、その他必要に応じて受診同行を行っている。
- ② 入退院時支援 入院者の面会・生活支援・退院に向けての検討会議などを行っている。
- ③ 買い物支援 生活に必要であり個人で行けない場所や買物の内容により同行支援をしている。
ふれんずの買い物支援を使える場合など出来ること出来るような支援を心がけている。
- ④ 生活支援 自立に向けて出来ることは出来るように出来ないことは少しでも出来るよう一緒に行っている
- ⑤ 金銭管理 自己管理の難しい方を対象に社協又は職員が入り金銭管理の自立に向けて支援を行っている。
- ⑥ 訪問看護 必要な方に対し医師からの指示書を通し訪問看護を受けている。(現在 8 名)
調子が悪い方への対応を訪問看護と連携し対応にあつたっている。

2. 成果と今後の課題

【成果】

- ② 入退院時支援の検討会議では、退院後の生活にスムーズに戻るよう入院の原因に対し本人と病院側と共に振り返りをするなどの話し合いを行ってきた、入院の頻度が多いメンバーほど病院との連携が取れているのでスムーズに相談や入院対応が出来てきている。
- ⑥ 健康指導や栄養指導、体調不良の対応なども行い緊急時には夜間の対応もしているので安心している。

【課題】

環境的に難しい地域であり、年々歳を重ねていく中、なかなか通院や買い物などを個人で出来るようにしていくことに難しさを感じている、公共機関の使い方を教えていくにも職員の時間がなかなか取れない事と公共機関を使つてまで出かけたいたいの気持ちが起こらない人が多い中での働きかけが難しい。
高齢化に伴い介護施設へのスムーズな移行を目指し見学を勧めイメージを持てるよう心掛けている。

3. その他、収支・職員数・利用者数など(過去 2 年間の推移も記載)

職員数；常勤 2 名 非常勤 6 名

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
在所者数	21 名	18 名	15 名
延利用者数	21 名	18 名	15 名
新規入所者数	2 名	1 名	1 名
退所者数	6 名	2 名	2 名
延入院者数	37 名	23 名	3 名
苦情件数	0 件	0 件	0 件

2021 年 3 月 31 日現在の個別給付請求先市町村 (計 7 市町村 15 名)

つくばみらい市：4 件 つくば市：3 件 (11/1 付け入所者 1 名：2/28 付け退所者 1 名)

牛久市：4 名 取手市：1 件 利根市：1 件 我孫子市：1 件 常総市：1 件 (3/31 付け退所者 1 名)

2020年度 事業報告書

(事業所名 ; グループホーム古城の家)

2021年4月1日

1. 主な支援内容

- ① 【生活支援】 食事の提供、金銭管理、服薬管理、掃除、洗濯、整容指導等
- ② 【同行支援】 通院、入退院、買物、市役所等
- ③ 【相談支援】 個別支援計画の遂行、相談援助（対人関係・精神面・自立・就労等）
- ④ 【日中活動支援】 心身等の理由で日中活動に参加できない時の必要な支援
- ⑤ 【その他】 各種申請手続き、他機関との連絡調整
- ⑥ 【新型コロナ感染予防のための支援】 感染予防の徹底、利用者の健康観察、相談、説明等

2. 成果と今後の課題

成果

新型コロナ対策に意識と時間を取られ、利用者への支援の機会が減っているにも関わらず、利用者の理解と協力が得られ、大きく崩れることなく生活を送れた。また、グループホーム内での対応が難しい時には、相談支援事業所、通院先、訪問看護、他事業所との連携を取りながら対応することができた。

課題

新型コロナ感染防止のため、制限が多い生活となり、そのストレスから調子が崩れ、臨時受診や入院に至ることもあった。長期化することを覚悟し、根気強く利用者のストレス、不安を解消できるよう努めていき、健康状態を細やかに見ていけるようにしたい。

3. その他、収支・職員数・利用者数など（過去2年間の推移も記載）

職員数 ; 常勤 3 名 非常勤 1 名

	2018年度	2019年度	2020年度
在所者数	13名	12名	13名
延利用者数	4147名	3988名	4201名
新規入所者数	0名	1名	0名
退所者数	0名	1名	0名
延入院者数	5名	4名	4名
苦情件数	0件	0件	0件

2021年3月31日現在の個別給付請求先市町村

龍ヶ崎市(3名)、つくばみらい市(2名)、稲敷市(2名)、牛久市(1名)、
つくば市(1名)、取手市(2名)、河内町(1名)、我孫子市(1名)

2020年度事業報告書

(事業所名；指定特定相談支援事業所マリーナ)

2021年3月31日

1. 主な支援内容

1. サービス提供方法等についての説明，契約
2. アセスメント
3. サービス等利用計画書（案）作成
4. サービス等利用計画書の作成
5. モニタリング
6. その他（利用者や家族と面談，必要に応じ支援会議の開催，関係者や関係機関との連絡調整）

2. 成果と今後の課題

更新の中には新規を含む

	つくばみらい市		つくば市		龍ヶ崎市		その他		合計	
	更新	モニタ	更新	モニタ	更新	モニタ	更新	モニタ	更新	モニタ
4月	3	11	4	3	0	1	3	3	10	18
5月	2	12	3	3	0	0	1	4	6	19
6月	3	8	1	3	0	2	0	1	4	14
7月	5	9	2	3	0	1	2	3	9	16
8月	5	9	1	2	1	0	0	2	7	13
9月	2	9	1	6	2	4	1	6	6	25
10月	6	10	2	1	2	0	0	3	10	14
11月	3	9	1	4	0	0	1	2	5	15
12月	7	5	2	1	0	3	1	1	10	10
1月	4	6	3	2	1	1	1	4	9	13
2月	2	6	1	3	0	0	1	1	4	10
3月	4	7	6	1	0	8	2	5	12	21
合計	46	101	27	32	6	20	13	35	92	188

成果

コロナウイルス感染拡大防止により面談を電話，ZOOMを使用して行い利用者や家族への感染予防対策を講じました。マスク着用，消毒用アルコール，フェイスシールドを持参し感染予防に努めることができた。

課題

茨城県，近隣市町村の感染状況を常に確認しながら訪問や面談を実施します。感染拡大の警戒レベルが上昇すれば互いの安全を考慮し電話，ZOOMでの面談に切り替えていきます。

相談支援事業所，障害福祉サービス事業所，特別支援学校等との情報共有の場が欲しいと思います。

3. その他、収支・職員数・利用者数・工賃など（過去2年間の推移も記載）

職員数；常勤1名 兼務4名

（3月31日現在）

	2018年度	2019年度	2020年度
登録者数	109名	111名	103名
更新・モニタリング数	92名・154名	104名・207名	92名・188名
苦情件数	0件	0件	0件